

「第2回抜山記念国際賞」の経緯と授賞報告

Report of the Second Nukiyama Memorial Award

抜山記念国際賞委員会委員長 門出 政則 (九州大学)
Masanori MONDE (Kyushu University)
e-mail: monde.masanori.357@m.kyushu-u.ac.jp

1. はじめに

「抜山記念国際賞」が日本伝熱学会創立50周年記念事業の1つとして創設され、早2年経過し、第2回抜山記念国際賞（以降、抜山賞と記す）の選考及びその授賞式が京都での第15回国際伝熱会議にて執り行われました。その選考経緯と授賞式について報告いたします。

詳細は、日本伝熱学会 WEB ページ

http://www.htsj.or.jp/NukiyamaAward_j.html (日本語)

http://www.htsj.or.jp/NukiyamaAward_e.html (英語)

を参照してください。

2. 抜山記念国際賞委員会の活動

第2回抜山賞の記念国際賞委員会 (Award Board) とその委員 (Board Member) について、日本伝熱学会理事会で2013年4月に承認が得られました。表1はその委員7名で、3名の委員 (* : 新任) の交代がありました。委員の任期は委員長を除いて2期4年となっているので3名の委員が交代したことになります。海外の委員は、地域性を考慮して選定されています。

抜山賞決定までの日程は表2に要約されていますが、第1回の広報活動をベースに第二回の抜山賞の公募案内を熱・伝熱に関連する国内外の学・協会に広報しました。International Center of Heat and Mass Transfer (ICHMT) を通しての広報によって、第1回と同様に国際的に広く認知されたものと思っています。

抜山賞の推薦に当たって、分野や年齢についての問い合わせがありましたが、最終的には3名の応募がありました。残念ながら、第1回に引き続き日本からの候補者の推薦はありませんでした。候補者3名のうち1名については、年齢要件から選考から除外されました。残り2名については、いずれも国際的に活躍されており、その分野での実績も高く、今後ともリーダーとして活躍が期待

されている候補者で、評価に当たってもかなり悩まされました。最終的に、7名の Board Member 全員の賛同を得まして、マサチューセッツ工科大学 (米国) の Gang Chen 博士を第2回抜山賞の候補者として推薦することを決定しました。その後、2014年1月の理事会で正式に受賞者として承認されました。Gang Chen 博士はナノスケールの熱輸送やエネルギー変換などの分野で先導的な研究を行い、この分野で顕著な功績を挙げていますことが受賞理由として認められました。

同博士の紹介は、http://www.htsj.or.jp/NukiyamaAwardRecipient2_j.html に記されています。

表1 抜山記念国際賞委員会 (Board Member)

委員長	門出政則 (日本)
副委員長	吉田英生 (日本)
委員	Gian Piero Celata (イタリア)
	Satish Kandlikar (米国)
	Joon Sik Lee (韓国) *
	Terrence W. Simon (米国) *
	岡崎 健 (日本) *

(* : 新任, 敬称・所属省略)

表2 抜山記念国際賞決定までの日程(2014年)

日付	項目
2013/6/15	Call for Nomination by e-mail
2013/9/10	Deadline for submission of nominations
2013/10/21	Report of evaluation of nominees
2013/11/22	Election of awardee by Award Board
2013/12/7	Approval of awardee from HTSJ
2014/1/5	Notification of awardee
2014/8/14	Award ceremony at 15 th IHTC

3. 抜山記念国際賞の記念講演

第2回抜山賞の授賞式と記念講演が第15回国際伝熱会議 (2014年8月11日, 14日, 於京都) にて行われました。

記念講演に先立って、受賞者の紹介や受賞に至った研究内容の簡単な紹介が行なわれ、その後、Gang Chen博士の受賞講演がなされました。写真1は、Gang Chen博士の講演の様子です。受賞講演は、まず抜山先生の業績について述べられ、これまでのナノスケールに関連する研究内容とその成果の紹介がなされました。この記念講演は、他の招待講演と平行セッションであったにもかかわらず多くの方が聴講されていました。(写真2)講演内容の詳細はTSEに掲載されることになっています。ご一読下さい。

抜山記念国際賞の賞状・楯と副賞は、国際会議のバンケット会場で岡崎会長からGang Chen博士に授与されました。写真3は、Gang Chen博士、岡崎会長と門出選考委員長の記念写真です。写真4、5は、Gang Chen博士へ贈られた賞状・楯と副賞です。副賞は、日本の奥ゆかしい文化とおもてなしの心を示すもので、ご理解して頂ければと思います。



写真1 Gang Chen博士の受賞記念講演風景



写真2 受賞記念講演の風景



写真3 Gang Chen博士との記念写真



写真4 抜山賞の賞状



写真5 抜山賞の楯と副賞

終わりに、第2回抜山記念国際賞の授賞式が、他の国際的な授賞と一緒に行われましたことは、抜山賞が国際的な賞として認知される第一歩となったことを確信しました。最後に、慎重なご審査を頂きました国際賞委員の方々ここに記してお礼申し上げます。